

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 株式会社日清製粉グループ本社（証券コード:2002）

### 【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA

### ■格付事由

- 製粉、加工食品、酵母・バイオなどの事業会社を傘下に置く純粹持株会社。持株会社によるガバナンス状況などから、グループの一体性が認められ、格付にはグループの信用力を反映させている。小麦粉、プレミックス、パスタなどの製品ではブランド力や提案力が高く、国内トップシェアを有する。また、中期経営計画（23/3～27/3期）では国内製粉、加工食品、酵母事業をコアビジネスとして継続・発展させていく一方、海外事業、中食・惣菜事業の成長を通じてグループ全体の利益の拡大を目指していく。
- 業績は堅調に推移すると想定される。国内製粉事業の収益力は安定している。海外製粉事業では19年に買収した豪州事業において、コロナ禍で事業環境が悪化し、23/3期第2四半期に減損損失を計上した。ただ、収益性改善の取り組みや償却費負担の減少により豪州事業の利益は回復に転じると想定される。一方、食品事業では原材料価格などのコストアップや医薬品原薬の販売数量減少はあるものの、価格改定が一定程度進むことでマイナス影響を軽減できると考えられる。財務内容は良好な水準にある。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- 23/3期営業利益は330億円（前期比12.1%増）と増益の計画である。主に好調な海外製粉事業や豪州事業における償却費負担の減少が増益に寄与する見通しである。なお、豪州ではコロナ禍で主要得意先であるインスタペーカリー向けの販売が落ち込んだ。今後は増加するコストの価格転嫁、小麦粉の大手需要家との取引強化などを進めていく方針であることから、各種施策の進捗と業績回復度合いに注目していく。
- 23/3期第2四半期に減損損失558億円を計上したものの、23/3期第2四半期末の自己資本比率は60.0%と良好な水準にある。中期経営計画期間中に成長投資や維持更新投資など総額2,200億円以上を計画しており、水島地区での製粉新工場の建設などを進めていく。ただ、当社の安定したキャッシュフロー創出力や豊富な手元流動性を考慮すれば、良好な財務構成は維持できるとみている。

（担当）井上 肇・三浦 麻理子

### ■格付対象

発行体：株式会社日清製粉グループ本社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第1回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年7月16日	2029年7月13日	0.200%	AA
第2回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年7月16日	2039年7月15日	0.560%	AA

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2022年12月7日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：井上 肇
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「食品」（2021年6月1日）、「持株会社の格付方法」（2015年1月26日）、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」（2003年7月1日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社日清製粉グループ本社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル